コロナ安全対策で体験交流を

福井県・若狭美浜

若狭美浜はあとふる体験
「生きぬく強い心を」

チームワークを育むボート体験

みんなで食卓を囲む
受け入れ家庭での食事

福井県美浜町は、人口約9300人、町の端から端までは車で約30～40分の距離の中に、日本海の中でも豊富な魚種が取れる「若狭湾の漁村」、ラムサール条約登録湿地にも認定された景勝地「三方五湖」の湖村、山には木々が生い茂り、澄んだ空気と清らかな川が流れる豊かな自然の中で営む「若狭路の農村」。さらには、町の名の通り日本海に面した美しい「水晶浜」が魅力的です。一つの町で漁村文化、湖の文化、農林業の文化を育んでいるため、若狭美浜はあとふる体験では、この自然豊かな地域の資源を生かし、漁業体験、農林業体験、自然・アウトドア体験、伝統味覚体験、工芸・歴史文化体験とバリエーションに富んだ体験プログラムを整えています。

私たちは、「素顔の美浜に出会える」をコンセプトに美浜のありのままの暮らしを感じ、訪れる人々と地域の人々が体験を通じて交流を行う。自然や風景を守り、伝統や文化を伝え、食を育み、互いが心高まる、感動する交流「感交」をしたいと取り組んでいます。

また、京都の台所としての役割を担ってきたこの地域は京都から1時間半～2時間に位置し、さらには北陸の古都金沢から約1時間半の距離となり、関西圏、北陸圏からも非常にアクセスの良い地域と言えます。今後は近隣市町と連携し、将来ある日本の子どもたちの育成に全力で取り組みます。

体験プログラムは、農林業体験8種、漁業体験10種、自然・アウトドア体験6種、味覚工芸歴史文化体験19種があります。その中から、地域のインストラクターと共に汗を流し、本物のリアルな現場を体験することによって、生きる強さと自分の考え方を持ち、自発的に行動できる人間へとつなげていける体験プログラムの一部をご紹介します。

ボート体験（信頼関係と、物事を継続して活動できる心づくり）

若狭美浜はあとふる体験特有のプログラムがこのボート体験。チームワークの大切さを肌で感じ、人間関係を構築する能力を育むことができる人気プログラムです。こぎ手4人とコックス（かじとり）1人が艇に乗り込み、湖をこぎ進みます。「一艇ありて一人なし」という言葉のように、1人が頑張っても速く進まず、全員の呼吸が一つになった時、初めて湖面を滑るように進むことができます。

「マイ海鮮丼」の調理

民泊体験（心の温かさと人としての礼儀の心づくり）

人間関係の希薄さが問題となっている中、民泊体験を通じて、人の温かさ、自分を応援してくれる気持ちを肌で感じる機会を大切にしています。自分の存在価値を再確認し、自分も高まりたいという意思、意欲を伸ばしていけるよう「心の平和教育プログラム」として「田舎の温かさや人とのつながりの大切さ」を伝えています。子どもたちは、初めて出会う新たな家族と緊張の面持ちで対面します。けれど、一緒に食事の準備をし、みんなで食卓を囲んで団らんするうちに、互いに歩み寄ろうとすることから交流が生まれます。ここで、大人や異年齢の他人との交流の方法を学ぶのです。受け入れ家庭でわが子のように接しています。偶然結ばれた数日間の縁がそれきりにならず、絆がつながっていくところに美浜の民泊体験の魅力があります。

若狭路新鮮素材で作るマイ海鮮丼作り（食の文化と若狭の漁村と農村の現状を知る）

福井県は47都道府県に先駆け、丼文化先進県として名乗りを上げ、お米の代表的品種「コシヒカリ」の発祥の地でもあります。このコシヒカリと、若狭湾で取れた新鮮な魚を自分自身で海鮮丼に合った形でさばき、マイ海鮮丼を作ります。

若狭美浜はあとふる体験推進協議会
〒919-1131 福井県三方郡美浜町木野21－4－1
〈㈱旅工房内〉
TEL 0770-32-2222　FAX 0770-32-6667
URL https://heartful-mihama.wixsite.com/mihama

埼玉県・秩父

都心から90分、民泊家庭は150軒
東京に「ちかいなか」秩父

自然を感じ、チームワークを育むラフティング

全員で料理して「いただきます」

みんなで田植え体験

受け入れ家庭での農作業体験

埼玉県の秩父地域は、東京都心から約80キロ圏内（バス、電車で2時間以内）でありながら、ユネスコに登録された「秩父祭」に代表される歴史や伝統文化、素晴らしい自然、また、人情にあふれた地域です。

歴史の教科書の中では、「和同開珎」「秩父事件」などが有名で、地学の面では〝日本地質学発祥の地〟として「日本ジオパーク」にも選ばれています。また、最近では感動の人気アニメ「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」や映画「心が叫びたがっているんだ。」「空の青さを知る人よ」の舞台にもなったアニメの聖地でもあり、現在全国で一番歌われている卒業ソング「旅立ちの日に」の発祥の地でもあります。

風光明媚で豊かな自然も残っており、四季を通じた観光要素も多くあります。民泊で生徒たちをお預かりしている間、ほとんどの観光要素を一緒に作り、食事や畑仕事など、常に一緒に行動し感じられる田舎料理を一緒に作り、食事や畑仕事など、常に一緒に行動して、地域独特の生活を体験する人数を制限しながら実施しております。

民泊（ホームステイ）

隣接する普代村と連携し、漁家や農家を中心に90軒の受け入れ家庭があり、約250人の子どもたちと交流が可能です。津波で流失した自宅を再建し、受け入れを再開した家庭もあります。

宿泊ホテル

350人の収容能力を誇る「秩父地域おもてなし観光公社」は、行政とも密接に連携しており、秩父医師会と連携した新型コロナウイルス対策や秩父消防本部にも受け入れの際には事前にお知らせをして、万が一の緊急時にも、地域ぐるみで対応する準備もしています。その他、学校や家庭が望むニーズにも可能な限り対応いたします。

バスでは修学旅行で人気の高い国会議事堂から約90分、東京ディズニーランドから約110分。首都高、関越道経由・花園IC下車、国道140号を利用。鉄道では、JR山手線池袋駅から西武鉄道の特急レッドアロー号（全席指定）で西武秩父駅まで約80分。都心から一番近くて、一度に約300人まで受け入れ可能なのが秩父地域の民泊です。東京への修学旅行に〝ちかいなか　秩父〟の民泊を取り入れ、人情あふれる田舎の生活体験をしてみませんか。

地域ですので、老若男女問わず、今や人気が高まっている観光地でもあります。

その秩父地域で行われる民泊では、約150軒の登録家庭が1軒3～4人の少数単位で生徒たちの一員として田舎の生活体験や親密なコミュニケーションを図ります。

季節によっては学校、クラス単位で、首都圏の貴重な水資源となっている荒川を活用した川下りやラフティング、自然の中でのアドベンチャーや渓流釣り、田植え体験、日本百観音霊場である「秩父札所34ケ寺」で行われる座禅、竹細工など学校のニーズに合わせた自然、文化を体感できる豊富な体験プログラムも多数ご用意しています。

受け入れコーディネート組織である「一般社団法人　秩父地域おもてなし観光公社」は、行政とも密接に連携しており、秩父医師会と連携した新型コロナウイルス対策や秩父消防本部にも受け入れの際には事前にお知らせをして、万が一の緊急時にも、地域ぐるみで対応する準備もしています。

一般社団法人 秩父地域おもてなし観光公社
〒368-0032 埼玉県秩父市熊木町9-5
秩父ビジネスプラザ
TEL 0494-26-6260　FAX 0494-26-7331
E-mail:info@chichibu-omotenashi.com
URL https://www.chichibu-omotenashi.com/

長野県・南信州

Withコロナ時代の受け入れ準備
SDGs学習などに対応

天竜川でのラフティング

■なぜ、今、南信州なのか？

○1996年より全国から教育旅行の受け入れを開始し、25年間の安定した実績を持つ。

○グリーン・ツーリズムの先進地（教育民泊・ワーキングホリデー）としての高い国内評価＝第1回オーライ！ニッポン大賞最優秀賞、エコツーリズム大賞受賞。

○全国で初めて農泊を教育旅行に導入（1998年）＝2017クールジャパンアワード受賞（農泊）。

○南信州観光公社は、飯田下伊那など16市町村が出資し、広域行政の協力で受け入れ。

○受け入れ農家は実数で300軒を超え、年間通じた受け入れが可能。その全てが簡易宿所資格を取得。旅館業法に則した事業として成立。

○ラフティングをはじめ200近い体験プログラムが用意されている。

○秋季の受け入れの実績もある。

■Withコロナ時代の教育旅行受け入れ先としての準備

新型コロナウイルス対策はガイドラインを公開し、モニタリングしブラッシュアップすることが大切です。

▽入域時の修学旅行生・学校関係者などの無感染・健康確認

▽南信州地域全体での感染防止策の実践

▽宿泊・食事施設、体験プログラムインストラクターなどの感染防止ガイドライン順守＝宿泊施設ガイドラインVer3／南信州農泊ガイドライン（農家向け）Ver3（農家向け）の順守、従業員の感染防止対策、感染防止のためのオペレーションの見直し、頻繁な換気・接触箇所の消毒

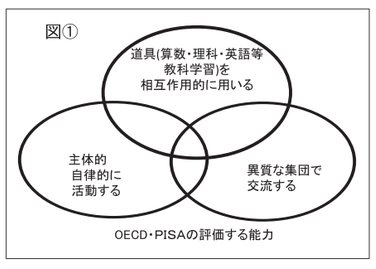
▽修学旅行生の感染防止ガイドライン順守＝接触防止策、ソーシャルディスタンシング、手洗い・手指消毒の徹底

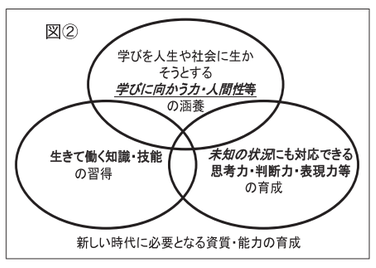
▽感染防止のための設備・備品・新技術などの活用

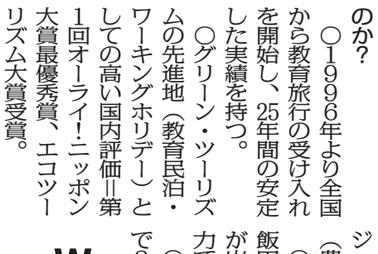
■SDGsと新学習指導要領

OECD PISA（2018学習到達度調査79カ国・世界の15歳対象）が評価する主要な能力では、日本は数学的リテラシー6位（5位）、科学的リテラシー5位（2位）、読解力15位（8位）と全て後退しています。その求める能力は図①の通りです。

新学習指導要領の求める主要な能力は、OECD PISAとほぼリンクしています＝図②。






大平宿でSDGsを学ぶ

世の中は「正解のない問い」に答えを出せる「問題解決能力」や「創造性」を持つ人を求めています。私たち感動体験南信州は、学歴や偏差値でその能力の有無は予測できないものであり、次代を切り拓く子どもたちには、「認知能力」（IQや学力テストで計測される）ではなく、「非認知能力」がその職業人生においても必要とされると考えます。

これは真面目さ、開放性、外向性、協調性、精神的安定などから構成され、人間力と言い換えてもよいものです。

そして、時代の潮流はSDGsに向かっています。新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」と持続可能な地球、日本、地域を創るためのフィールドワークをふんだんに用意してご来訪をお待ちします。

株式会社 南信州観光公社
〒395-0152 長野県飯田市育良町1－2－1
りんごの里内
TEL 0265-28-1747 FAX 0265-28-1748
URL https://www.mstb.jp/

岩手県・三陸海岸

新型コロナウイルス対策を万全に。伝える、そして学ぶ。
大震災体験の伝承・復興への歩み・生き抜く力

人気のサッパ船アドベンチャーズ

体験の拠点「机浜番屋群」

350人収容のホテル羅賀荘

岩手県田野畑村は、三陸復興国立公園の北部に位置し、「日本一の海岸美」と称される北山崎など恵まれた景観の中に人口3千人強の住民が漁業や酪農を営み、大自然や農山漁村の豊かさを五感で感じることができる場所です。

平成23年3月11日に村を襲った大津波は、住み慣れた家、船や漁港施設のみならず、尊い人命をも奪い去りました。悲惨な現実やその後の不自由な生活を乗り越えて、生業の再興や復興へと歩むたくましい住民の姿は、訪れる生徒たちの目にのように焼き付き、感性や心情に響いていくのでしょうか。

生徒が置かれた状況に向き合い、自らがどのような行動をおこし、他の人々や社会と心や絆でつながる大切さに気付くこと。「アクティブラーニング」により「生きる力」を身に付ける学びの場所がここにあります。

新型コロナウイルス感染症対策として体調確認、手指消毒、マスク着用をしていただき、各種体験の実施人数を制限しながら実施しております。

組織と教育訓練

「体験村・たのはたネットワーク」がコーディネート組織としてお問い合わせや手配のワンストップ化を図り、田野畑村役場が後方支援をする官民一体の体制を整え、学校や旅行会社の皆さまの目的や要望に対し迅速かつ柔軟に対応しています。各プログラムの指導者や民泊家庭は、定期的な研修を行い、漁船プログラムについては海上保安庁などとの連携訓練を実施するなど安全確保に努めています。

民泊（ホームステイ）

隣接する普代村と連携し、漁家や農家を中心に90軒の受け入れ家庭があり、約250人の子どもたちと交流が可能です。津波で流失した自宅を再建し、受け入れを再開した家庭もあります。

宿泊ホテル

350人の収容能力を誇る「ホテル羅賀荘」は被災後にリニューアルオープン。屋内交流センターもホテルに隣接して整備され、セレモニーや班別ワークショップなど多目的スペースの確保が可能です。宿を出るとすぐに体験現場という絶好のロケーションは滞在中に効率的なプログラムを組むことができます。

お奨めプログラム

◆サッパ船アドベンチャーズ

津波被災から即座に運航を再開し、三陸地域の観光復興をけん引しています。漁に使う小型漁船（サッパ船）に乗り、断崖直下や岩礁の間を縫うように航行する漁師の勇姿に気迫を感じます。洋上や漁港での体験は、漁業の厳しさや漁師の知恵を伝えます。

◆漁師番屋　漁業体験施設「机浜番屋群」が復元され、「漁師料理」「塩づくり」など、地元漁師やおかあちゃんインストラクターが各種体験メニューを提供しています。ここを拠点にサッパ船アドベンチャーズやみちのく潮風トレイルガイドなど多種多様な体験プログラムを実施できます。

◆大津波語り部・震災遺構　被災地区住民が体験した大津波の脅威、当日の行動や避難生活、その後の支援への感謝や現在に至るまでの苦労を現地にてご案内します。津波のエネルギーや被害の悲惨さを長く後世に伝えるため、被災した防潮堤が「震災遺構」として保存され、当時の状況がよりリアルに伝わります。田野畑村では大きな被害が発生しましたが、隣接する普代村には村を守った水門があり、津波対策・避難に成功した事例と、悲しい現場双方を見ることにより、防災教育が深まります。

「大津波語り部」から生きる力を学ぶ

NPO法人 体験村・たのはたネットワーク
担当　楠田・赤坂
〒028-8402 岩手県下閉伊郡田野畑村北山129-10
北山崎ビジターセンター内
TEL 0194-37-1211　FAX 0194-33-3355
E-mail:taiken-tanohata@car.ocn.ne.jp
URL:https://www.tanohata-taiken.jp/